



幸田町長

迫藤 徳光

「人と自然を大切に作る緑住文化都市」 の実現をめざして

21世紀に入り、地球環境保全への意識の高まりや少子化、高齢化による人口減少社会の急速な進行、地方分権の進展などかつてない新たな社会へと時代は向かっていきます。

また、きわめて近い将来に発生が想定される東海・東南海沖地震や台風による集中豪雨などの自然災害への備えや、社会治安の悪化への防犯対策など住民が安全に安心して暮らせることが強く求められています。

こうした現実を直視し、長期的視点に立ったまちづくりの指針として「第5次幸田町総合計画」を新たに策定しました。目指す将来像を「人と自然を大切に作る緑住文化都市」とし、豊かな自然やこれまでに培ってきた歴史、文化そして人と人とのつながりを大切に、新しい発想と視点のもとに町民の皆さんと協働して個性あるまちづくりを進めていくこととします。

特にこの総合計画は、10年後の目標人口を4万人に設定し、さらに将来に向け周辺自治体と連携や交流を図りながら、自立した都市として発展していくことをめざし、5万人規模を展望した計画となっています。また、第4次計画に引き続き小学校の学区単位ごとに、望ましい将来イメージを示した地区別計画を盛り込み、各地区の特性を生かした事業を推進することとしています。

地方行財政をとりまく状況は依然として厳しく、この総合計画に掲げた目標と施策を実現していくことは必ずしも容易なことではありませんが、情報の公開、説明責任を一層充実し、町民の信頼のもと総力を傾注してまいりますので、町民の皆様の温かいご理解を賜りますようお願いいたします。

最後に本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をお寄せいただいた町民の皆さん始め、終始熱心にご審議をいただきました町議会、総合計画審議会、同顧問ならびに多くの関係者の皆様に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも計画の実現に向けて、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 18 年 3 月